

雜 報

◎人 事

朝鮮道立醫院醫官陸軍二等軍醫正五位勳三等 石原 貫 一  
 兼任朝鮮公立專門學校教授  
 敍高等官三等 (三月十七日)  
 敍從四位 正五位勳五等 小林 和 三 郎  
 (三月十七日)  
 故地方技師正五位勳五等 小林 和 三 郎  
 特旨ヲ以テ位一級追陞セラル (三月十八日)  
 療養所醫長 小林 和 三 郎  
 年俸四千六百五十圓下賜 (三月十六日)  
 海軍軍醫少佐 大 岩 博 雅  
 吳鎮守府附被仰付 (三月二十二日)  
 敍勳六等授瑞寶章 從六位 森 定 惠  
 (三月二十三日)  
 岡山醫科大學教授 安 藤 畫 一  
 補岡山醫科大學附屬醫院長  
 職務俸金千六百九十圓下賜  
 岡山醫科大學教授 好 本 節  
 依願岡山醫科大學附屬醫院長ヲ免ス  
 職務俸金千五百參拾圓下賜 (三月二十四日)  
 賜一等給 陸軍一等軍醫 西 村 慶 次  
 賜二等給 陸軍一等軍醫 永 山 太 郎  
 (三月二十五日)  
 岡山醫科大學教授 田 部 浩  
 歐洲各國、土耳其國、埃及國、印度及暹羅國へ出張  
 ヲ命ス (三月二十九日)  
 陸軍三等軍醫從七位 寺 岡 森 太 郎  
 任陸軍二等軍醫

(各 通)  
 任陸軍三等軍醫 橫 山 保  
 任東京帝國大學助教授 中 村 俊 雄  
 敍高等官七等 大 林 達 三  
 東京帝國大學助教授 田 宮 貞 亮  
 本俸十二級俸下賜 永 光 軍 一 郎  
 補傳染病研究所所員 田 宮 貞 亮  
 傳染病研究所所員職務俸金五百圓下賜 (三月三十一日)  
 東京高等齒科醫學校教授 松 本 武 一 郎  
 依願免本官  
 臺灣總督府臺北醫學專門學校教授 杉 山 九 一  
 陸敍高等官三等 (三月三十一日)  
 岡山醫科大學助教授 小 田 大 吉  
 陸敍高等官五等 (三月三十一日)  
 海軍軍醫大尉 中 村 博 郷  
 海軍軍醫學校選科學生被仰付 (四月一日)  
 賜一級俸 岡山醫科大學長 田 村 於 兔  
 (三月三十一日)  
 四級俸下賜 地方技師 根 岸 顯 藏  
 (三月三十一日)  
 東京高等齒科醫學校教授 松 本 武 一 郎  
 五級俸下賜 (三月三十一日)  
 敍從七位 中 井 良 平  
 (四月一日)  
 下志津衛戍病院長 平 川 龍 造  
 陸軍一等軍醫正  
 免本職

第二十師團軍醫部部長 尾崎文七郎  
陸軍二等軍醫正

補下志津衛戍病院長  
濱田衛戍病院院長兼歩兵第二十一聯隊附陸軍二等軍醫正 長田祖村

免本職並兼職  
工兵第十大隊附兼岡山陸軍兵器支廠廠員陸軍一等軍醫 大橋要人

補野戰重砲兵第六聯隊附  
陸軍兵器本廠附兼陸軍軍醫學校附陸軍一等軍醫 西村英二

補陸軍軍醫學校部員 (四月十日)

朝鮮公立醫學專門學校教授 石原貫一 (三月十七日)

補大邱醫學專門學校教授 (三月十七日)

正六位勳六等 根岸顯藏

敘勳五等授瑞寶章 (四月一日)

海軍軍醫少佐 大岩博雅

補吳海軍病院部員 (四月二日)

敘從六位 正七位 小田大吉 (四月十五日)

敘從七位 田宮貞亮 (四月十五日)

○田中敬三君 豫て岡山醫科大學生化學教室に於て研究中なりし同君は今般同教室を辭し高松市古新町記念病院内科部長として勤務せられたり

○檜垣律夫君 豫て岡山醫科大學皮膚科泌尿器科教室に於て研究中の同君は先般福山市市立診療所に勤務せられたり

○吉浦 悟君 は豫て九州帝大醫學部小兒科教室に勤務し居られしが今般福岡縣糟屋郡志免村海軍炭坑病院小兒科に轉勤せられたり

○中山一彦君 は豫て岡山醫科大學泉外科教室に勤務し居られしが今般石川縣大聖寺町江沼病院外科部長として就任せられたり

○松波賢吾君 は豫て岡山醫科大學泉外科教室に勤務し居られしが今般辭職岐阜縣笠松町に於て開業せられたり

○關藤忠雄君 は豫て福山市市立診療所に勤務し居

られしが今般辭職せられたり

○進藤直作君 豫て歐米各國に留學中の同君は先般無事歸朝し神戸市神戸區北長狹通5丁目に於て診療に従事せられたり

○奥村雅延君 は豫て岡山醫科大學小兒科教室に勤務し居られしが今般辭職本縣津山市田町に於て開業せられたり

遠藤三千二君逝く 君は明治27年第三高等學校醫學部を卒業し岡山縣病院産婦人科に勤務し後郷里香川縣小豆郡大部村に於て開業し居られしが本年1月17日病を以て遠逝せられたりと寔に哀悼に堪へず謹みて茲に用意を表す

横山龜雄君逝く 君は明治25年第三高等中學校醫學部を卒業し岡山縣病院産婦人科に勤務し後郷里本縣兒島郡琴浦町に於て開業し居られしが昨年来少しく健康を害し静養に力められしも其の效なく本月16日遂に永眠せられたりと洵に哀悼に堪へず謹みて茲に用意を表す

◎新卒業生消息

本春岡山醫科大學卒業生諸君の消息は左の如し

(本月20日調)

- 石川 昂 岡山醫科大學産婦人科教室勤務
- 石井 研二 岡山醫科大學耳鼻咽喉科教室勤務
- 西村 正治 岡山醫科大學産科婦人科教室勤務
- 西川 規夫 岡山醫科大學皮膚科泌尿器科教室勤務
- 友保 誠 岡山醫科大學津田外科教室勤務
- 大島 捷六 岡山醫科大學耳鼻咽喉科教室勤務
- 大林 義彦 岡山醫科大學津田外科教室勤務

小田醇太郎 岡山醫科大學耳鼻咽喉科教室勤務  
 岡崎春雄 岡山醫科大學柿沼内科教室勤務  
 尾崎嚴衛 岡山醫科大學耳鼻咽喉科教室勤務  
 和田直 岡山醫科大學柿沼内科教室勤務  
 内藤豊 岡山醫科大學眼科教室勤務  
 上村良一 岡山醫科大學泉外科教室勤務  
 上塚萬壽男 岡山醫科大學耳鼻咽喉科教室勤務  
 内山宗一 岡山醫科大學眼科教室勤務  
 鵜飼昌雄 岡山醫科大學柿沼内科教室勤務  
 倉内勇吉 岡山醫科大學稻田内科教室勤務  
 眞喜屋實亨 岡山醫科大學耳鼻咽喉科教室勤務  
 松島春海 岡山醫科大學稻田内科教室勤務  
 小泉三郎 岡山醫科大學津田外科教室勤務  
 小坂澄治 岡山醫科大學柿沼内科教室勤務  
 後藤脩吉 岡山醫科大學皮膚科泌尿器科教室勤務  
 寺島和周 岡山醫科大學耳鼻咽喉科教室勤務  
 安達龍夫 岡山醫科大學小兒科教室勤務  
 赤松金四郎 岡山醫科大學産婦人科教室勤務  
 安里昌由 岡山醫科大學津田外科教室勤務  
 齋木豊 岡山醫科大學津田外科教室勤務  
 齋藤了 岡山醫科大學泉外科教室勤務  
 木口浩三 岡山醫科大學柿沼内科教室勤務  
 美田隆紀 岡山醫科大學耳鼻咽喉科教室勤務  
 三好桂一郎 岡山醫科大學津田外科教室勤務  
 宮木輝夫 岡山醫科大學津田外科教室勤務  
 水田隆之 岡山醫科大學産婦人科教室勤務  
 森正久 岡山醫科大學柿沼内科教室勤務  
 森加博 岡山醫科大學柿沼内科教室勤務  
 守屋誠 岡山醫科大學耳鼻咽喉科教室勤務  
 石天之樞 岡山醫科大學皮膚科泌尿器科教室勤務  
 岩橋安雄 京都帝大醫學部鳥瀨外科教室勤務  
 外山孝二 名古屋市民病院勤務  
 大見良秀 宇治山田市市中病院勤務

田中守義 高松市日本赤十字社香川支部病院眼科勤務  
 難波武夫 尼崎市共立病院勤務  
 山口裕 神戸市高橋病院勤務  
 山谷幹雄 尼崎市南川産婦人科病院勤務  
 安藤貢 神戸市赤十字社支部病院勤務  
 明石愛爾 京都帝大醫學部病理學教室勤務  
 淺沼清志 岡山市岡崎外科病院勤務  
 坂本賢三 刑務所保健技師  
 佐々木貞夫 神戸市縣立神戸病院勤務  
 三井義亮 刑務所保健技師  
 志茂正規 倉敷市中央病院外科勤務  
 平田善夫 宮崎縣立病院勤務

### ◎學位授與

前田幹照、高橋重勝、檜垣律夫、岩藤良秋の4君は論文を岡山醫科大學に提出し學位を請求し居られしが前田、高橋兩君は本年2月6日の教授會を通過し3月31日、檜垣、岩藤兩君は本年2月20日の教授會を通過し本月12日何れも醫學博士の學位を授與せられたり其の主論文及び參考論文は左の如し

前田幹照君

主論文

腦下垂體ノ研究

- 其1. 家兎ニ於ケル腦下垂體細胞ノ微細構造トニ其ノGolgi氏裝置ニ就テ並ニ睾丸及ビ副睾丸摘出後ニ於ケル前葉ノ變化ニ就テ (本誌第43年第8號ニ發表セリ)
- 其2. 腦下垂體後葉成分 Pituglandor Rahe 或ハ腦下垂體前葉成分 Hypophysin Byla ヲ1回—25回注射セシ家兎ノ腦下垂體細胞殊ニ其ノGolgi氏裝置ノ變化ニ就テ (本誌第44年第9號ニ發表セリ)
- 其3. 睾丸成分ノ家兎腦下垂體前葉ニ及ボス影響ニ就テ (本誌第44年第10號ニ發表セリ)

- 其4. 「アドレナリン」注射ニヨル腦下垂體前葉細胞殊ニ其ノ Golgi 氏裝置ノ變化ニ就テ (本誌第44年第10號ニ發表セリ)
- 其5. 「バイニール」(松果腺製劑)「オーホルミン」黃體以外ノ卵巢實質製劑)並ニ「チロイド」(甲狀腺製劑)ノ家兎腦下垂體前葉細胞ニ及ボス作用ニ就テ (本誌第44年第11號ニ發表セリ)
- 其6. 「インシュリン」ノ家兎腦下垂體ニ及ボス影響ニ就テ (本誌第44年第11號ニ發表セリ)
- 其7. 脾臟部分ノ剔出後ノ殘餘脾臟並ニ腦下垂體前葉ノ變化ニ就テ、(追テ本誌ニ發表ノ豫定)

高橋重勝君

主論文

光神視野ニ關スル研究

- 其1. 高橋氏大光神視野計ニ就テ (日本眼科學會雜誌第36卷第12號ニ發表セリ)
- 其2. 視標ノ大サノ視野ニ及ボス影響 (日本眼科學會雜誌第36卷第7號ニ發表セリ)
- 其3. 視標輝度ノ視野ニ及ボス影響 (日本眼科學會雜誌第37卷第1號ニ發表セリ)

參考論文

1. 血液型特ニ眼疾患ニ就テノ2, 3ノ研究 (本誌第44年第8號ニ發表セリ)
2. 春季加答兒患者ノ植物性神經機能檢査成績ニ就テ (日本眼科學會雜誌第37卷第2號ニ發表セリ)
3. 春季加答兒治驗例並ニ其ノ治療法ト原因ニ就テ (中央眼科醫報第25年第2號ニ發表セリ)
4. 「ヒステリー」性眼症狀ニ就テ (中央眼科醫報第25卷第2號ニ發表セリ)
5. 血族結婚ト眼疾トノ關係ニ就テノ統計的觀察

- (中央眼科醫報第25卷第2號ニ發表セリ)
6. 「ペラグラ」ニ伴フ眼症狀ニ其ノ原因治療ニ就テ (中央眼科醫報第22卷第4號ニ發表セリ)
  7. 月經ニ因スル眼症狀ニ其ノ原因治療ニ就テ (眼科臨牀醫報第25年第2號ニ發表セリ)
  8. 皮様腫並ニ脂肪皮様腫 (眼科臨牀醫報第28年第9號ニ發表セリ)

檜垣律夫君

主論文

- 其1. 太陽燈照射ノ生物學的作用ニ就テ (第1回報告) (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
- 其2. 同 (第2回報告) (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
- 其3. 諸種皮膚疾患ニ於ケル血清「カルシウム」及「カリウム」含有量ニ就テ (本誌第41年第12號ニ發表セリ)

參考論文

1. 色素性蕁麻疹ニ就テ (追テ本誌ニ發表ノ豫定)
2. 毛孔性紅色靴襠疹ニ就テ (本誌第42年第11號ニ發表セリ)
3. 萎縮性扁平紅色苔癬ニ就テ (本誌第41年第3號ニ發表セリ)
4. 我教室ニ於ケル最近9箇年ノ泌尿器疾患ノ統計的觀察 (中川, 大道, 荒田, 檜垣共著) (岡山醫科大學歐文業府第1卷第3號ニ發表セリ)
5. 皮膚結核ノ統計的觀察 (本誌第42年第8號ニ發表セリ)
6. 汗疱狀白癬頑癬風, 癩風其ノ他ノ表在性絲狀菌症ニ對スル一新治療藥ニ就テ (本誌第41年第9號ニ發表セリ)

岩 藤 良 秋 君

主 論 文

實驗的急性腹膜炎ト肝臟病理組織學的所見

第1編 實驗的急性腹膜炎犬解剖學的所見, 血液所見並ニ肝臟ノ一般の病理組織學的所見

(追テ本誌ニ發表スベシ)

第2編 肝臟「グリコゲン」ノ消長ニ就テ(追テ本誌ニ發表ノ豫定)

第3編 肝臟脂肪體消長ニ就テ (追テ本誌ニ發表ノ豫定)

第4編 肝臟「ミトヒヨンドリア」ニ就テ (追テ本誌ニ發表ノ豫定)

第5編 肝臟 Golgi 氏裝置並ニ毛細血管ニ就テ(附. 全編總括並ニ結論) (追テ本誌ニ發表ノ豫定)

參考論文

1. 慢性炎症網膜腫瘍ニ就テ (本誌第43年第12號ニ發表セリ)
2. 側頸部血囊腫ニ就テ (本誌第44年第6號ニ發表セリ)
3. 正中神經ニ發生セル巨大惡性神經腫瘍及ビ V. Recklinghausen 病ニ就テ (本誌第43年第5號ニ發表セリ)
4. 再ビ「ノイリノーム」ニ就テ (菅龍正, 岩藤良秋共著) (本誌第44年第10號ニ發表セリ)

5. 脊椎「カリニス」及ビ其ノ他 2, 3 外科的疾患ニ於ケル腦脊髄液高田, 荒氏「フクシン」昇汞反應ニ就テ (本誌第44年第4號ニ發表セリ)
6. 同種血球凝集現象ヨリ見タル腫瘍細胞ニ就テ (長崎醫科大學法醫學教室業報第2卷第3號ニ發表セリ)
7. 先天性胸骨破裂症ノ1例ニ就テ (グレッグビー特第4年第9號ニ發表セリ)

◎ 正 誤

本誌第44年第9號(第512號)藤原角一君論文加里鹽類の利尿作用機轉に就て

頁	行	誤	正
2519	左 15 行	Loy	Loye
2520	左 4 行	Loy	Loye
2523	左 15 行	貸	貸
2524	右 25 行	丹	遠
2528	左 7 及 8 行	法	方
2531	11 行	素	類
2532	1 行	Daste	Dastre
◇	13 行	Erwin	Erwin
◇	16 行	Puart,	Quart.